

議 長 受付番号第7号、古谷星工人君の一般質問を許します。登壇願います。
2 番 古 谷 それでは議長の許可を得ましたので、初めての一般質問をさせていただきます。受付番号第7号、質問議員、第2番 古谷星工人です。件名、自然災害に強い安全なまちづくりについて。

要旨です。近年地球温暖化の影響で、台風の巨大化、ゲリラ豪雨によって全国で自然災害が発生しております。台風19号は降雨量が多く、虫沢川左岸では堤防を乗り越え、農地、水田に流入しました。その下流には寄簡水の水源もあり、ライフラインに影響することも考えられます。次のことについてお尋ねいたします。

(1) 10月12日の台風19号の被害状況について、特に民地の被害状況を中心に状況別の件数をお願いいたします。

(2) 寄地区の道路、水道などライフラインの確保、孤立について、町道寄11号線と接する山北町、土佐原林道と接する秦野市との災害時の連携状況についてお伺いいたします。

よろしく願いいたします。

町 長 それでは古谷議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。

台風被害の状況について。まず寄地区民地における被害状況でございます。台風19号が去った13日以降で、職員、消防団、自治会、被害を受けた方から収集いたしました情報であります。民地に関するところでは、全体で家屋、敷地内への土砂流入が16件、茶畑や田畑などへの土砂流入が3件、そのほか県道、町道、農道等の土砂崩落等が48件ございました。

その詳細につきましては、まず萱沼地区では茶畑ののり面崩落、弥勒寺地区では民家ののり面が土砂崩れ、土佐原地区においては7件の民家で土砂崩れ、家屋への流入、倉庫の全壊がありました。宇津茂地区では2件の民家へ土砂が崩れ、墓地への土砂流入があり、虫沢地区では2件の民家へ土砂崩れ、田畑への土砂流入があり、田代地区では4件の民家へ土砂が崩れ、そのほか県道、町道、遊歩道等へ土砂が崩れ崩壊がありました。家屋へ直接被害があったものと、敷地内への土砂流入を含めて、被害が発生した件数は19件と承知しております。また県道、町道、林道等における土砂崩れ等につきましては48件ということで

承知してます。

次に、2点目の御質問にあります他市町との連携についてでございますが、まず現場の状況をお伝えいたしますと、町道寄4号線は15日に復旧し、町道寄11号線につきましては、現在も片側通行にて利用していただいております、復旧に向け準備等を進めているところもございます。

さて、御質問にあります町道寄11号線と接道する山北町、土佐原林道と接する秦野市との災害時の連携状況でございますが、山北町とは平成8年2月に災害時における相互援助に関する協定を締結し、秦野市とは平成17年12月に災害時における応急対応に関する協定を締結しております。今回の台風19号のように、大規模な災害が予測される場合などについては、事前に山北町と連絡を取り合い、町道寄11号線においてのり面崩落による通行車両への事故を未然に防ぐため、総雨量などによる交通どめの実施をするなど、今後もさらなる連携を図ってまいります。また、土佐原林道から秦野市につながる町道寄4号線につきましては、今回土佐原林道の秦野市境付近での倒木や、秦野市道2路線とともに、倒木や土砂流出により一時通行どめとなりました。今後も災害協定をもとに、秦野市との連携強化を図ってまいります。

今回の台風の影響により、約3時間ほどではありましたが、寄地区が一時的に孤立した状況となりました。今回はその状況が長く続くことがなかったからよかったものの、長時間にわたった場合を想定した中で、食糧等の備蓄や電気、水道などのインフラ対策についても強化する必要性が高まりましたので、今回の被害を教訓として、町民の生命と財産を守るための対策を改めて考え直し、順次整えてまいります。以上です。

2 番 古 谷 答弁ありがとうございました。質問に先立ちまして、台風15号、19号の犠牲者の方々へお悔やみを申し上げますとともにですね、多くの被災者に対してお見舞いを申し上げたいというように思います。

まず最初にですね、被害状況を細かく説明していただきました。今回の台風ですけども、非常に雨が多かったということで、箱根では観測史上1,000ミリを超える大雨ということで聞いております。その外輪山に当たります南足柄市では狩川の増水によって浸水があったりですね、養魚場へ土砂が流入し、10万

匹、約20トンの養殖魚が廃棄したと聞いております。大型で大雨の台風であったためですね、関東甲信から東北地方にかけて広範囲にわたり河川の堤防決壊や越水、内水氾濫などによる家屋流失、浸水被害、土砂崩れによる家屋倒壊、道路崩壊等、激甚災害に指定されるなど、その猛威は被害件数が数えられないほどの脅威となりました。

今報告がありましたとおり、私も寄地内の被害状況を見て回りましたが、今回は不幸中の幸いということで、人命に関するような被害はありませんでした。しかし一步間違えればですね、裏山が20メートルぐらいにわたって崩れているようなところもありましたので、非常に危なかったというところもございました。そのような状況の中でもですね、片づけにはですね、非常に想像を絶するほどの労力がかかっているというように思っております。

この要旨の中にちょっと書いておきましたけども、虫沢川の左岸でですね、越水、少し水が田んぼのほうに流れ込みました。その下には寄簡水の水源もあるということで、ここの水源の守る方法をひとつお聞かせ願いたいというように思います。

環境上下水道課長 お答えいたします。今御指摘のですね、いわゆる弥勒寺…ごめんなさい、宮地田代水源からですね、虫沢地区については給水がされているというふうなことで理解しております。実は宮地田代水源にはですね、2つの水源がございます。宮地田代第2水源、あと弥勒寺第2水源という2つの水源がございます。ですので、仮にですね、宮地田代のほうは何らかの形で水源が使えなくなったということであってもですね、いわゆる理論上はですね、弥勒寺第2水源のほうからですね、取水ができるというふうに考えております。以上です。

2 番 古 谷 違う別の水源からですね、融通するというようなことだと思いますけども、もし土砂が流れ込んであそこが使えなくなる可能性もありますので、その辺の対応はですね、必要かなというように思います。

それからですね、県道も一時通行どめになりましたけども、県道については構造もしっかりしたところもありますし、業者のほうもですね、あらかじめ決められてるというようなことを伺っております。町道に関してはですね、そういうように路線ごととか地域ごとにですね、災害が起きた場合に業者が決めら

れているかどうか、ちょっとお伺いしたいと思います。

まちづくり課長　それではお答えいたします。町道に関しましては、このように、台風のように事前に災害が予想される場合には、前日もしくはその前の日から、もう既に業者のほうに、寄地域で対応できる業者を連絡してあります。当日もう朝から動けるような形で準備をしておりますので、特にこの路線は誰々という形ではございませんけども。あと県道に面する町道に関しては、県道を作業をしている業者さんをそのまま向かっていただくというふうになっています。以上です。

副町長　ちょっと補足です。先ほど古谷議員のほうからですね、虫沢川の関係でちょっと御質問があった件ですね、先ほど依田課長の方からは、当方の水道の管理的なところからお話をさせていただきましたけれども、実はですね、あの虫沢川については過去からですね、やはり左岸側の堤防が若干低いといったところが見えました。これは私がですね、職員時代にですね、県の土木事務所が管理というところで、一旦はですね、大きな石、河床整理ですね、をしていただいた経緯がございます。その後ですね、やはり堤防高が低いということで、ちょうどきょう古谷議員がおっしゃった場所についてはですね、かご等で堤防をかさ上げしていただいているというようなところで今対応をさせていただいてます。ただこれもですね、まだまだ完全なものではないかなと。実際に溢水というんですかね、堤防を乗り越えた現実もございますので、今後はですね、その辺の状況を踏まえましてですね、再度神奈川県の方と、今後の堤防の整備についてですね、どのような計画が立てられるかというところは調整させていただきたいというように考えております。以上でございます。

2番古谷　副町長、ありがとうございます。それでは、先ほどちょっと1つ前に戻るんですけども。今、災害ということでお話ししてまますけれども、これから冬に向かってですね、降雪で雪害という言葉になるかと思うんですが、これも災害とはちょっと違って、路線全部、路面全部かかかないと通行できないというようなことになりますので、あらかじめですね、わかれば事前に業者のほうにお願いして対応できればと、していただければというように思いますので、よろしくお伺いしたいと思います。

それから、今副町長のほうからも虫沢川の関係ありました。虫沢川にはです

ね、4つの橋がかかっています。上から長寿橋、虫沢橋、沢入橋、谷戸口橋と4つの橋がかかっておりますけども、今回の台風でですね、谷戸口橋のところが大分もう橋の桁まで水が来るような状況になっておりましたので、土木事務所のほうで早めに下の土砂をですね、ちょっとよけていただくような対応をしていただいておりますけども、これは一時的なものであって、これからですね、また何年か先にはこんな大きな災害があるかと思っておりますので、県土木と調整の中で、しゅんせつなりですね、整理をまた町のほうからもお願いしていただければというように思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

それから、2つ目の質問はですね、隣接する山北町…秦野市との関係になります。土佐原林道からですね、100メートルぐらいが市道になってまして、その先、三廻部へ行く道と菖蒲へおる道と分かれます。その100メートルぐらいのところが、今回2カ所崩れてですね、通行ができなかったということをお聞ひしております。私の認識ではその100メートルぐらいのところの土砂の撤去、移動をですね、地元の業者がやっていたというふうな話を聞いておりますけども、この辺は町のほうで承知してられるかどうか、ちょっとお伺ひしたいと思っております。

まちづくり課長 その件につきましては、次の日ですね、12日が被災、13日ですけども、地域の方から御連絡をいただきまして、地元の業者さんが、地元の方から崩れちゃってるからどけてもらえないかというお話をして、どけてもらいましたと。うちのほうも現地は把握しておりましたので、早急に県のほうにも連絡を、管理が神奈川県になりますので、してたところ、地域の方の御有志の方がやっていたというふうなことで。ただしですね、その先、秦野市道のほうが2路線とも崩れていまして、実際にはそこをどかしてでもですね、行けなかったということが、その件については秦野市からの連絡と、私どもも通ってましたので承知してましたので、そこの件に関しては地元の有志の方と地元の業者さんがやっていたというふうなことは承知しております。

2 番 古 谷 ありがとうございます。それから、先ほど町長さんのほうで、山北町とは平成8年、秦野市さんとは平成17年に提携をされてるということだったんですが、今回それがですね、うまく機能していたのかなという疑問もちょっと持

っております。私もちょっと初めてでいろいろ調べさせていただきました。そうしたら1市3町広域連絡協議会というのが何か組織されてるということです。秦野市、松田、大井、中井町ですね。こういう協議会がありますので、この協議会を通じてですね、再度町長なり、また事務方で打ち合わせをしていただいでですね、お互いに早く対応できる自治体がですね、土砂の撤去なりできるように調整ができればなというように思っておりますので、この辺の検討もよろしくお願ひしたいと思ひます。

それからもう時間的、余裕ありますけども、初めてでちょっと緊張してましてですね、最後になりますけど、今言われた、お話ししたようなことは、秦野市のほうもですね、同じような考えを持ってられるのではないかというように思ひますので、1市3町の協議会の中で、ぜひ検討をしていただいで、災害時に孤立しないというようなことをお願ひしたいと思ひます。住みやすいまちづくりを進めていく中ではですね、孤立しない、させないようにしていかないとですね、寄の人口はふえていかないとというように思ひますので、これら進めていくにはですね、時間を要するものと思ひますので、要望としてお願ひし、質問を終わりにさせていただきます。ありがとうございます。

議

長 以上で受付番号第7号、古谷星工人君の一般質問を終わります。

以上で本日予定しました日程の全てが終了しましたので、本日の会議はこれにて散会いたします。

お知らせします。あす4日は午前9時より本会議を開きますので、定刻までに御参集くださるようお願いいたします。本日は御苦勞さまでした。(15時55分)